

第 42 回（平成 30 年度）全国高等学校総合文化祭の開催について

長野県教育委員会教学指導課

1 目 的

高等学校教育の一環として、高等学校生徒に芸術文化活動の場を提供することにより、芸術文化活動への参加意欲を喚起し、創造的な人間育成を図るとともに、芸術文化活動を通じて、全国的、国際的規模での生徒相互の交流・親睦を図る。

2 開催概要

項 目	内 容
主 催	文化庁、公益社団法人全国高等学校文化連盟、長野県高等学校文化連盟、長野県、長野県教育委員会、会場市町村、市町村教育委員会
開 催 時 期	平成 30 年(2018 年)8 月 7 日（火）～11 日（土）の 5 日間（予定）
開 催 概 要	昭和 52 年から各都道府県が持ち回りで開催する高校生による芸術文化活動の祭典 参加校：3,000 校 都道府県代表の生徒：約 2 万人 観覧者：県民を含め約 10 万人 ※ 総合開会式には秋篠宮様が御臨席予定
開 催 部 門	開会行事 総合開会式、パレード
	専門部門 (19 部門) 演劇、合唱、吹奏楽、器楽・管弦楽、日本音楽、吟詠剣詩舞、郷土芸能、マーチング・バトントワリング、美術・工芸、書道、写真、放送、囲碁、将棋、弁論、小倉百人一首かるた、新聞、文芸、自然科学
	協賛部門 今後協議して決定（4～5 部門） 〔候補〕 福祉ボランティア、特別支援、産業、軽音楽、ダンス
国際交流事業	海外から高校生を招待し、総合開会式への参加、開催地高校生との文化交流等を実施 大韓民国のほか、2 カ国を予定
開 催 内 定	平成 25 年 6 月 27 日 （開催決定：平成 28 年 5 月頃）

3 今後の進め方

- 平成 26 年 全国高等学校総合文化祭長野県準備委員会の設置
（市長会、町村会、経協、芸文協、教育関係者等で構成）
- 平成 28 年 全国高等学校総合文化祭長野県実行委員会の設置
（知事、県教育長、市町村長、市町村教育長等で構成）
- 平成 29 年 全国高等学校総合文化祭プレ大会の開催
- 平成 30 年 全国高等学校総合文化祭の開催

経済波及効果
茨城県 20 億円
富山県 24 億円

全県をあげて、また
学校現場と県教育委員会、
県関係部局、市町村等関係行政機関
と連携して取り組むことが必須です

第42回全国高等学校総合文化祭 開催準備全体スケジュール

年度		開催手続	業 務
平成25年	5年前	開催内定	
平成26年	4年前		会場の選定 長野県準備委員会 ・開催地の選定、決定 ・協賛部門の内容決定
平成27年	3年前		・大会基本方針の決定 ・大会テーマ、マスコットキャラクター、ポスター、イメージソング等の公募・決定 ・国際交流事業の計画立案 ・パレードコースの提案
平成28年	2年前	↓5月 開催決定	長野県実行委員会 総文祭推進室設置 6月 第1回長野県実行委員会 ・業務別委員会による企画 ・イメージソング等の公募・決定 ・広報PR、部門強化 ・国際交流事業の計画立案、調整 ・広島大会参加、視察、PR ・宮城プレ大会参加、視察、PR
平成29年	1年前	↓10月 プレ大会	6月 第2回長野県実行委員会 ・実施要項等の作成 ・広報PR活動、部門強化 ・国際交流事業の内容決定 ・宮城大会参加、視察、PR ・各種マニュアルの作成
平成30年	開催年	8月 第42回全国高等学校総合文化祭長野県大会 開催	6月 第3回長野県実行委員会 ・危機管理 ・参加申し込みの集約 2月 第4回長野県実行委員会 ・報告書、決算書等の作成 ・記録集作成、引継ぎ会資料作成

部門ごとの開催地について

1 開催地の決定

(1) 方針

- ① 芸術文化活動が県下全域に広がるよう、各広域ごとに開催地を極力分散させること。
- ② 市町村の希望をお聞きし、地域の協力が得られる見込みの部門を当該地域で開催するよう配慮すること。
- ③ 全国高等学校文化連盟の部門開催基準規程等に準拠していること。
- ④ 長野県高等学校文化連盟専門部の希望に配慮すること。

(2) 方法

- ・ 上記①の方針を受けて、各広域で1つは開催していただくようお願いしていく。
- ・ 各市町村の希望と長野県高等学校文化連盟の希望をマッチングさせ、開催地を調整する。
- ・ 上記方針を踏まえ、全国高等学校総合文化祭長野県準備委員会で開催地を決定する。

2 各部門の開催条件等

別添資料のとおり

3 開催への協力

各部門の開催地では、主催者である会場市町村として以下のような協力をお願いしたい。

- ・ 会場使用料の減免等
- ・ 広報啓発活動に関する負担(できる範囲で)
(のぼり旗、プランター、懸垂幕、パンフレット、バスラッピング等)
- ・ 大会前後における人的支援(できる範囲で)
- ・ 全国総文祭の前年(平成 29 年)の 10 月下旬に開催するプレ大会への協力

4 今後の予定

H27 年2月上旬	市町村に開催希望を照会する文書を送付
2月 18 日	第1回全国高等学校総合文化祭長野県準備委員会を開催 (大会概要の説明、開催期間・協賛部門の決定)
2月末日	市町村からの開催希望受付締切
3月	市町村の希望を踏まえ、事務局内で開催地を調整
5月中旬	第2回全国高等学校総合文化祭長野県準備委員会を開催 (部門ごとの開催地を決定)

○ 各部門の開催条件等

備考欄の※印が市町村の希望をお聞きする部門

部 門	条 件 等	①参加生徒・教員数	②総観覧者数	③宿泊者見込数	備 考
1 演劇 〔舞台発表系〕	1,500～2,000名程度収容可能な会場・大会3日間（6日間確保） 舞台構造・音響・大道具等搬入経路・駐車施設・付帯施設等条件あり 全国高等学校演劇協議会との協議により決定すること	276人	3,364人	1,300人	会場に限定があるの で個別に交渉
2 合唱 〔音楽系〕	1,500名程度収容可能な会場・大会1日（2日間確保） ステージ間口 18m×奥行 11m×高さ 7 m、	2,213人	6,011人	2,000人	会場に限定があるの で個別に交渉
3 吹奏楽 〔音楽系〕	1500～2,000名程度収容可能な会場・大会2日間（3日間確保） コンクールを避け平日開催とする。体育館等隣接の施設で音出しが可能	2,853人	5,741人	5,000人	会場に限定があるの で個別に交渉
4 器楽・管弦楽 〔音楽系〕	1,500～2,000名程度収容可能な会場・大会2日間（3日間確保） 大型リハーサルスペースが最低2つ以上。搬入大型車両が横付け可能	2,139人	3,979人	4,000人	会場に限定があるの で個別に交渉
5 日本音楽 〔音楽系〕	1,000～1,500名程度収容可能な会場・大会2日間（4日間確保） 調弦室として8室以上確保、荷解・荷作りスペースがあること	1,104人	6,388人	3,200人	※
6 吟詠剣詩舞 〔舞台発表系〕	700～1,000名程度収容可能な会場・大会1日（2日間確保） ※吟詠剣詩舞：詩吟に合わせて剣舞などを舞台で発表するもの	358人	1,080人	700人	※
7 郷土芸能 〔舞台発表系〕	1,200～1,500名程度収容可能な会場・大会2日間（4日間確保） パブリックビュー用小ホール併設、近隣に練習会場が確保できること ※太鼓と伝承芸能の2部門がある。	1,343人	15,331人	4,000人	※
8 マーチン グ・ババント ワリング 〔舞台発表系〕	縦 30m×横 30mの演技フロアを作れる会場・大会1日（2日間確保） （サブアリーナ等できる限り多くの観覧席が必要） 空調設備が整っていること。周辺に練習会場が確保できること	2,047人	2,875人	2,000人	会場に限定があるの で個別に交渉
9 美術・工芸 〔展示系〕	美術館またはそれに準じる施設・大会5日間（7日間確保） 展示壁面延長 400m程度必要。講評会等 500名程度収容の施設が必要	784人	8,322人	1,000人	※
10 書道 〔展示系〕	展示壁面延長 400m程度必要・大会5日間（7日間確保） 講評会等 500名程度収容の施設が必要	610人	6,415人	600人	※
11 写真 〔展示系〕	写真展を開催した実績があり美術館に準じる施設・大会5日間（7日間確 保）展示壁面の総延長 300m以上 講評会等 500名程度収容の施設が必要	689人	7,783人	1,400人	※ 撮影会あり
12 放送 〔舞台発表系〕	①500名以上収容のホール ②200名以上収容のホール ③150名以上収容の会議室 } を同時に備えている会場・大会2日間 （3日間確保）	1,233人	3,554人	2,400人	※
13 囲碁 〔競技系〕	床面積がトータルで 400㎡以上必要・大会2日間（3日間確保） 宿泊施設と合体の会場であればなお良い	406人	1,564人	750人	※
14 将棋 〔競技系〕	同時に 400人（200組）が対局できる広さの会場・大会2日間（3日間確保） 競技遅延に備え、宿泊施設と合体の施設が望ましい	652人	2,302人	1,300人	※
15 弁論 〔舞台発表系〕	500名程度収容可能な会場・大会2日間（3日間確保）	135人	1,205人	260人	※
16 百人一首 かるた 〔競技系〕	競技会場の広さが 300 畳以上・大会3日間（4日間確保） 一般の観客が自由に観覧できる空間を有していること（アリーナ形式が望 ましい）、空調設備、マイク使用可能、外部との遮音が可能であること	422人	1,365人	1,200人	※
17 新聞 〔展示系〕	500名程度収容可能な会場・大会3日間（6日間確保） 展示壁面の延長が 100m以上あること 総合開会式後に速報を発行するため、開会式会場と近いこと	467人	2,271人	1,000人	会場に限定があるの で個別に交渉
18 文芸 〔展示系〕	講演会等 500名程度収容のホール・大会5日間（6日間確保） 文芸誌等の展示可能な独立したスペース	337人	556人	600人	※ 文芸散歩のファイ ールドワークあり
19 自然科学 〔展示系〕	400名程度収容可能なホール・大会3日間（4日間確保） 4つの研究発表会場、ポスター発表会場、60名程度収容可能な会議室等	691人	3,300人	1,300人	※ 3コースに分か れフィールドワーク

※①②は H26 年度茨城県の数値 ③は県外参加者×宿泊日数で算出した推計

■協賛部門（予定）

部 門	条 件 等	備 考
20 軽音楽	1,200名以上収容可能な会場・開催1日を予定（2日間確保）	※
21 ダンス	1,000名～1,200名程度収容可能な会場	※
(22 産業)	※農業・商業・工業・家庭等専門学科による販売活動を予定	会場に限定があるので個別に交渉
(23 福祉・ボ ランティア)	200名程度が分科会を開催できる会場 グループ別分科会やフィールドワークを予定	会場に限定があるので個別に交渉
(24 特別支援)	※特別支援学校における文化系クラブの発表の場を設ける	会場に限定があるので個別に交渉

平成 30 年に

全国高等学校総合文化祭が

いよいよ長野県にやってきます

大会を盛り上げるマスコットキャラクターやグッズも製作予定

会場までの道のりに登旗



部門別看板と
プランターの花々



ぬいぐるみやグッズ等

○全国から高等学校 3,000 校・

2 万人の高校生が集結

○観客動員数…約 10 万人

○経済波及効果…約 20 億円

長野県での広報PRの様子



懸垂幕（県庁本庁舎）



カウントダウンボード（長崎市）



カラー路面電車「美龍（めいろん）号」



500 日前イベント（県南地区）



KTN テレビ長崎「総文祭特集番組」

◆規定 19 部門

演劇

合唱

吹奏楽

器楽・管弦楽

日本音楽

吟詠剣詩舞

郷土芸能

マーチングバンド・バトント
ワリング

美術・工芸

書道

写真

放送

囲碁

将棋

弁論

百人一首かるた

新聞

文芸

自然科学

◆協賛部門

福祉・ボランティア

軽音楽 ダンス

産業教育

特別支援 等（予定）



音楽系部門



合唱部門



舞台発表系部門



展示・競技系部門

